

◆外電一束◆

◆日支條約批准

華府會議で締結された日支條約は攝政宮殿下に據り御批准する又権密院通過批准となりる日支條約は近くの交換行はるべし(東京電報)

◆文支動亂の其後

張作霖は吳佩孚との再戦を断念し長城以外に退却した奉天地方に於ける彼の人氣は地に落ち吳佩孚は彼の意に政府改造を要求せんとす又孫逸仙は吳と誤解を得んとし前陸相は新政府を組織せんと奔走中と(北京電報)

◆世界一周飛行

英飛行家ブレーク少佐は廿四日のイ

ンパイアデイにノーマン大尉ブルーム中佐を同乗せしめ世界一周飛行の爲先づミランへ向け飛んだ一周飛行に要する日時は二ヶ月の豫定だと(倫敦電報)

◆米國外債應募額

本年の米國の外國市債等の應募額は三億四千八百五十萬弗(紐育電報)

◆梅毒新注射藥

ロウ教授は梅毒即治の新注射薬を發見し百九十號と命名巴里の科學々會へ發表した(巴里電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商談中で擔保として佛國より大なる土地を提供した事は前號所報の通りだが今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利公債及び一九二一年の八分附紐育債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利倫敦債に、殘餘は一九二九年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

以上着伯移民の行先は

●外債に抵當の

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

以上着伯移民の行先は

●外債に抵當の

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

以上着伯移民の行先は

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

以上着伯移民の行先は

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

以上着伯移民の行先は

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

以上着伯移民の行先は

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

以上着伯移民の行先は

◆經濟欄◆

目下酒京中の羅馬法王廳特派使節ジアルディニ権機大僧正は法皇廳の駐日特命全權司教に任命せらるべし(東京電報)

◆伯國財產

伯國聯邦中の或州が北米で借款商

談中で擔保として佛國より大なる土

地を提供した事は前號所報の通りだ

が今伯國諸財産にして諸外債の擔保に當てられるものと列舉すれば

債に、首都港務收入は一九〇三及び

八九年の五分利倫敦債に、中央線以外の鐵道收入は一九〇一年四分利倫敦債

九〇四年一九〇九年各五分利倫敦債

一九一二年の四分利附紐育債

一九二一年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

八年の五分利倫敦債に、聯邦首都歲入は一

九一二及び二二年の八分附紐育債

八年の五分利公債及び一九二九年の五分利附紐育債

櫻の世界へ大混雑 悲鳴を揚げる怒鳴る

◆上野驛は一大修羅場

『今が真盛り』と各所の花歸りは都是や言語に盡し難い、一大修羅場を現出した此有様だから改札係りの鍵花の名所は何處と云はず春を追ふ人を入れて貴はすに乗つた者が大部分の群で混然雜然と賑やかだ、何と云つても昔ながらの、名所飛鳥山はそ

の中でも人出の

▲隨一で上野驛から汽車で運ばれ

る人は全くこれまでにない夥しい數

を算し流石は花に加へて平和博の

膝元上野驛は今混亂の絶頂だ、四月

一日は乗車客四萬七千七百七十一人

で、降車客四萬六千九十五人で、

乗降共昨年の約二倍、夫れも幸ひに

して乗り得た人を云ふのであって、

若し乗り得た人を數へ上ればたら

▲去年の何倍に達するか判つたも

のでない、乗車客の方は單に櫻花や

平和博の影響許りでない、信越方面

からの出稼人が今歸郷の真最中であ

るからたまつたものでない、全く上

野驛始まって以來の事だ、驛員は勿

論總動員の轉手古舞ひ、夫れも到

底整理に困るので同二日からは上野

署から警官二十名の活躍を求めて、

死物狂ひの活動全く

▲氣の毒な位である、當日午後八

時四十分新潟行きの列車出發間際の

事だ、一列車に六百人位じか乗れぬ

に約其三倍千七百八十人を押しかけ

てゐるからたまらない助役さんの指

揮の下に驛員が左往右往『列になへ

て』を叫んでも聞かばこそ、甚だし

く列車自懸けて飛び込むと云ふいや

所に起り悲鳴は上がる

▲荷物の運搬口から『ドツ』と乗

し合ひ、遂に一大混亂場に化して了

ひ、乗客と駕籠や驛員との亂闘が隨

きに至つては駕籠の油断を狙つて

あるからたまらない助役さんの指

揮の下に駕籠は左往右往『列になへ

て』を叫んでも聞かばこそ、甚だし

く仕方がないから這入つた者をば太縄

を張つて押へつける、改札前既に此

所に起り悲鳴は上がる

▲折角の

お土産物は散つて踏躡さ

れ中には履いてゐる下駄をぬぎ捨て

やうに堆い切符を指して自分で儲け

▲京都行

列車で機関車一輛貨車九

に就ては目下調査中だが百分の一勾

日 本 近 信

るやうな笑顔になるる上野から出る人は『飛鳥山など俗だ』と大宮、熊谷方面へも續々と出かけるので、同

驛からは大宮と熊谷までも臨時列車を愛でやうと家族同伴で出かける人も大分殖えた

年約四萬三千に比べると三割方の増加である『江の島鎌倉や小田原方

面へ行く人もなかゝ多いのですが、今分では箱根が一番多くてふも列

三區(山陰道第四區)山口縣第五區東京電報(北米通信)四月廿六日

を出してゐるそれに湘南地方に春氣を愛でやうと家族

同伴で出かける人も大分殖えた

現出した此有様だから改札係りの鍵

花の名所は何處と云はず春を追ふ人を入れて貴はすに乗つた者が大部分の群で混然雜然と賑やかだ、何と云つても昔ながらの、名所飛鳥山はそ

の中でも人出の

▲隨一で上野驛から汽車で運ばれ

る人は全くこれまでにない夥しい數

を算し流石は花に加へて平和博の

膝元上野驛は今混亂の絶頂だ、四月

一日は乗車客四萬七千七百七十一人

で、降車客四萬六千九十五人で、

乗降共昨年の約二倍、夫れも幸ひに

して乗り得た人を云ふのであって、

若し乗り得た人を數へ上ればたら

▲去年の何倍に達するか判つたも

のでない、乗車客の方は單に櫻花や

平和博の影響許りでない、信越方面

からの出稼人が今歸郷の真最中であ

るからたまつたものでない、全く上

野驛始まって以來の事だ、驛員は勿

論總動員の轉手古舞ひ、夫れも到

底整理に困るので同二日からは上野

署から警官二十名の活躍を求めて、

死物狂ひの活動全く

▲氣の毒な位である、當日午後八

時四十分新潟行きの列車出發間際の

事だ、一列車に六百人位じか乗れぬ

に約其三倍千七百八十人を押しかけ

てゐるからたまらない助役さんの指

揮の下に駕籠は左往右往『列になへ

て』を叫んでも聞かばこそ、甚だし

く仕方がないから這入つた者をば太縄

を張つて押へつける、改札前既に此

所に起り悲鳴は上がる

▲折角の

お土産物は散つて踏躡さ

れ中には履いてゐる下駄をぬぎ捨て

やうに堆い切符を指して自分で儲け

▲京都行

列車で機関車一輛貨車九

に就ては目下調査中だが百分の一勾

所に起り悲鳴は上がる

▲折角の

お土産物は散つて踏躡さ

れ中には履いてゐる下駄をぬぎ捨て

やうに堆い切符を指して自分で儲け

▲京都行

列車で機関車一輛貨車九

▲かうして健實に進んで行つて、やがては之を以て商業會議所設立の基礎ともたらしめやうと思つてゐる、實際私等商人として、英米佛伊蒲の商人が各自完全した商業會議所を、市内に持つてゐるのを見ると羨望に耐えない』云々、と希望に燃ゆる顔を輝かしてゐた。吾人は切に同組合の發達を祈るものである

▲因に同組合は毎月日本俱樂部へ百

亞國青年に對する祝詞を手渡した
● 渡伯準備に勇み立つ
日本實業家視察團

各地到る處に伯國熱がまよりたるな
段落に去る三月廿一日神奈川丸にて
神戸出帆^{きよほん}任の途に就き昨朝無事
ント斯着同日午後六時四十分^ス聖
られたるが
今回は令夫人と一昨年聖市生れの^{モハシヒロシ}
娘^{むすめ}ちやんとを伴^{とも}ふての^の歸任^{きいん}の爲め^の便^{びん}
車場への出迎人は仲々多數^{なかなべうす}にて一々
挨拶^{あいさつ}があつて後ホテル、ドエステ、
赴かれ明日と明後日は荷物受取りの
爲め當地^{なまち}滞留^{しりゅう}二十八日にはリオの公
使館へ歸任の豫定^{よじょう}だと承^{うけたまひ}はつた

お待遠様であつたと推察される帝國總領事館農業技師江越信胤氏夫人と海外興業會社員渡邊考氏夫人とは同じ神奈川丸にて昨日安着多數邦人の出迎へを受けて後豫て設けの自宅へと乗込まれたは御芽出だし

日本の大工大至急募集す
御希望者は左記へ御照會を乞ふ
大正十一年五月
カーニ日本 吉田政之進
Rua Consolação, 42 S. Paulo
沖繩縣島尻郡玉城村字富名腰
尋人
大城福昌 大正七年渡伯
御通知被下度候
同氏の住所を御存知の方は左記まで
L. Oshiro Cannaske
Est. P. Penna
L. Noroeste

獨身者五六名入用に付御希望の方は
左記宛に至急御照會又は御來談あつたる
べく好條件にて契約する事なき故申す
勤致することに相成候間此段辱
知諸君に謹告致候
大正十一年五月二十二日

成りは
八方に手を盡し候も薬石其効
へなく大謹正告申す
八十仕り候五月廿二日
クルニンデ驛サンタ
妻ス耕地
人 友山渡木田邊光
佐松龍横紺鈴鈴山末
藤本頭井野木木田邊太
市松清市武太留廣朋國
郎貞次作郎治郎作作二代

●記念博開會延期は
せなごりオ市長力む
リオ市長カルロスサンバイオ氏は本
るべき百年記念大博覽會諸準備に
九月迄には完成する豫定で開會延擱
はしないと去る十九日リオ市各新聞
へ聲明したが同博參加各外國特設館
も英、白、佛、墨、ボエミア各館工
事は著しく進歩し米、葡、丁、諾諸
館は殆ど完成に近く日本館も近日中
には係員一行が到着するので手斧や
鋸の音の始まるもの間はあるまい

藤田總領事一行は十七日南大河州ボルトアレグレ市着後到る處歓迎を受け該地方の各種工業の發達する意外の感に打たれつゝ紡織製帽冶鑄詰其他各種工場サンゼロニモ炭鉱や日本米耕作で名あるペロタスのソゾリオ耕主の農園等を視察の上同方面を切上げサンタカタリナ州へ向ひ本日はサンフランシスコ市へ到着する

よりは少しく日間取りましたが海上は聊かワチリがあつた位で平穡無事でありました、船内は船長始め船員一同非常に親切にして呉れたのを輪島俊午郎君のやうな伯國通や沖周郎君のやうな熱心家があつて移民の世話ををして呉れたので万事圓満に且つ愉快でありました

●ビンボン競技会 明廿七日土曜午後八時から本社同人會對聖市夜學校のビンボン大會が本社内開催される一般同好者の番外飛入りも大歓迎されば昔思はん共は名乗りあい立ちあへ候へ

●運 賽 界 ●

ペルテア村書議員ボジン氏から百一十家族の村民が渡伯を希望してゐるので詳細の照會を受けた之等移民の男の子は全三十五歳以下の強壯者で一九一六年一八年戦役出征者で氣候の關係上伯國の西南部地方を望んでゐる

● 葡語教授

日本人諸君にしと欲する人は短期間にて上達するには模様教授法と親切を以て教へます授業時間午後六時半より十時まで希望者は左記に問合せられたし授業料前金

イタジバ・サンチアゴ
Rua Direita, 8-A, 2º andar
Tel. Central, 5765

Fazenda Leonor
 Mogy das Cruzes
 E. F. C. B.

確實なる農業

廣島屋旅館
聖市コンデ街五十三
電話セントラル五八一九
Rua Conde de Sarzedas, 53
Telephone Central, 5819

絶好
伯國中央線の年拂はばは全額拂付の割引する健
脈内相當年賦好年拂送馬車第一期込み積み至る所
場所特典
（此價格はモジ來る所取扱 Rue

者に限り此の
の土地提供
驛より五基米突アルト・ダ、セーラ山
康庫等を一區アルケール九百五十五十
五分利子にて賣却す但し即時拂なら
入植と同時に假登記を爲し本地地券
の後譲與す農具一切、家畜、果樹、苗、
迄賣却貸與の御相談に應ず
ケールに付薪五六百米突は無償提供
モジ驛渡し約四コントス
驛より一日牛車二回馬車三回往復出
（第一號電車終點）
五月廿五日 渡邊孝
人佐々木守男
Marquez de Abrantes, 4 S. Paulo

同様の仕事にたづさわる者は、共通の利害關係がある。この共通の利害關係を持つ同業者が集まつて、共通の利益を擁護發達せしめ、地位の向上相互親善を計り、何事も協力一致して事に當らうと、毛利元就が矢を折つて子を教へた古事を擔ぎ出すまでもなく、久しい以前から聖市邦商間にも何か協同機關設置の必要がある、と云ふ聲は起つてゐたが、今迄實現されなかつた。ところが百年前は近寄るし、日伯商業關係は日大さうとする秋、愈々

五十ミルレースの寄附を申出た
聯邦大統領來聖

エノスアイレスへ向ふのだと
● 東京の平和博と
伯國に關する出品

東京に開催中の平和博覽會に就い、
伯國外務大臣は最近在東京伯國公
館から受取つた電報中に諸國のな
加状態を叙しその中伯國に關して
海外興業會社やカフエバクリスター
の興味多い出品物がある旨を報じ
る

南遊の總領事消息

●神奈川丸入港
◇移植民を載せて
三月廿一日野田書記官夫妻外數名の
一等船客と移植民四百卅餘名を載せ
て神戸を出帆した日本郵船會社の神
奈川丸は航海無事豫定通り昨廿五日
も未明ナントスに入港十時波止場に横
附になり、移民は直ちに上陸收容所
へと運ばれた

▲船中の模様移植民の状態を尋ねる
と輸送監督の玉置佐一氏が大體左の
如く話された、今回の神奈川丸は荷

ミルレース宛で製作の爲め農務大臣へ許可申請した
第三回 南米族行
南米探險家として有名なダイオット
氏は今月中に三度目の南米大旅行に出發する筈で先づアンデス山脈を壊
断し驃馬又は徒步で河に出てカノナ川を下航し途中中學術的探險をなし八ヶ月の旅程であると倫敦電報が報じた

歸化申請取扱所

の數を與へ、茲に伯國人としての根
から意味甚だ深重である。

本扱ひ開始

を避けて、有力に移らんとするの士は
數か、無力か有力か、若し之を有利
効能は自から釋然たるべきである。

工は速かに本社へ申込あれ

の明細書を送呈す。

（仕者に限る）

聖市邦商の商業組合

◆不文律を誇る英國式

之等各社から一名宛の代表者を選出しして視察團を組織する由で同團は桑港を経て八月末リオ着の豫定で日本と出發し着白の上よりオ、サンパウ

●嶺通譯生サントス出張
當地帝國總領事館の嶺通譯生は移民搭載の神奈川丸入港の爲め一昨日公

得んぞしつゝありと
● 移民宣傳繪葉書

神奈川丸入港

移植田を轉せて

第三回 南米疾丁

歸化請取扱ひ開始

無力を以て無くして無くに爲る無力をして有りて有りとすのを無力化を爲すに若くはない。零か數か、無力か有力か、若し之を有する有意義に解決の能あらば歸化の効能は自から釋然たるべきである。

大石内藏之助

牛井桃水

「好し、夫ならば許しつかはず」
「有り難う御座ります」

一同ホツと息をして、こそ逃行

かうとするのである。

「こりや待て、まだ申聞かず事があ

る」と言ひつゝ懷中を取出して、盜賊

どもの目先に投やり

居たが、慶長年中大徳寺

の僧逐角といふ者、禪院を創業して

瑞光院と號け、その後本庄氏

名を

陽甫といふ沙彌

此の寺を嗣て二代

の祖となる。然るに淺野内匠頭長矩

の室、瑞光院夫人の父は、淺野因幡守

で、母は即ち本庄氏、陽甫とは從

始弟、その次の住職海翁坐も矢張り

右衛門の爲め、秋葉山で命を盡した

瑞光院の從弟に當り、重縁の間

守て、母は即ち本庄氏、陽甫とは從

下に入込んだ。伊豆藏人は村松父子

はすにも及ぶまい」と言はせも敢す

が手に掛り、佐藤儀左衛門は不破數

千坂兵部、

右衛門の爲め、秋葉山で命を盡した

瑞光院に住居を定め、取敢へず亡君

の遺愛と、一萬兩の化粧料を、日野

の關係から、内藏之助はさし當つて

使ひ残りの金子、まだ四五兩は入つ

て居る筈

是を其の方とも残らず

申出さず、凡そ一年を経過したが、或

が行つたら、こそ立去れ

内藏之助が上洛後、第一に音訪れ

弟はお互に譲らすして、義盟に加は

ます

弟は、大石清四郎同瀬左衛門の兄

であつた。

凡そ一家にして兄弟二

人ある時は、孰れか一人難に赴き、

内藏之助が上洛後、第一に音訪れ

弟は、大石清四郎同瀬左衛門の兄

であつた。

凡そ一家にして兄弟二